

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2025 年

5 月

237号

- ◇正しい信仰の仕方、聞思修
- ◇人生はドラマ、生き方は演出
- ◇徳の器を大きくする

健やかに
幸多かれと

花菖蒲

五月



ホームページ

宗教法人 真生会

令和七年信仰目標

仏の智慧を身に付けよう!!

『自分の成長と人救いのために』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

創立46周年 立教祭

四月二十日（日） 総本山真生寺において創立46周年立教祭が執り行われた。開式の鐘の奉鐘から始まり、教団旗・導師式衆が入堂し、続いて子供奉献の儀、ご詠歌が奉納された。立教感謝の祈りでは導師会長先生の下、胎内仏ご奉安、先祖報恩総供養の読経供養を厳修した。



一体一体の胎内仏の祈願供養が読み上げられた



会長先生のご真教法話

本年は新規役員任命の年にあたり、会長先生より各教会の役員の仕事が行われ

れ、大阪教会新教会長に大西啓依子さん、総本山教務長に田中祥陽さんが任命を受け、その後、決意法話を行った。そして開教以来、大阪教会教会長を努めてこられた谷口祐晟先生の退任法話が行われた。しかし、谷口先生は体調を崩され当日の式典に参列出来なかったため、祐子夫人の代読にて伝えられた。法話後、会場が感動に包まれる中、

長年の多大なる功績を称え、会長先生より感謝状が贈呈された。その後、会長先生のご真教法話が行われた。

最後に豪華賞品が並び、謝恩抽選会が開催された。当選した賞品を受け取った会員信者は喜びの表情を浮かべ、参加者から拍手が送られた。式典後は弁当や会員信者の厚志による焼きそばが振る



先祖報恩総供養が読み上げられた

まわれ、和やかな懇親昼食会のひとときを過ごした。





大西啓依子大阪教会長の決意法話



谷口先生退任法話の代読（祐子夫人）



会長先生より役員任命書授与



田中祥陽教務長の決意法話



謝恩抽選会、当選した会員信者へ賞品が手渡された



懇親昼食会では焼きそばが振るまわれた



謝恩抽選会、会場内も盛り上がった

大阪教会 新築建て替え寄進 ～申込受付中～

申込期間：令和7年12月末まで

納入期限：令和8年3月末まで（分納可）

※詳しくは総本山・各教会にお尋ねください。

こころつながる縁

三月三十日（日）総本山真生寺の光徳会館、お祭り広場において「まんまるマルシェ」が開催された。真生会は会場を提供し、主催は岐阜教会所属の早野雅博さんはじめ活動を共にする30名程のメンバー。それぞれの



【イケメンまさろう焼きそば】を出店会話を楽しみながら作る早野さん

得意分野で日本・世界を元気にしていきたいという志を持った仲間とさまざまな催しを行った。焼きそばなどの

飲食や占い、セラピーなど20店程多岐に渡って出店。本イベントを通して大勢の方に観音様、ご本尊様へも参拝頂いた。一般の方、会員信者も含め、約200人が来場し大盛況となった。早野さんは「仲間や来場して下さる多くの方々に真生寺の素晴らしさを知ってもらいたい。その思いが皆さんの力で実現できて大変嬉しいです。」と感想を述べられた。開祖



さまが願われた宗旨宗派問わず集える「心のオアシス真生楽園」が感じられる集いとなった。



焼きマシュマロも楽しめた



ぶ眞教法話

会長 田中庸仁
た なか つね ひと



◇正しい信仰の仕方、聞思修

明治の文豪夏目漱石の小説「草枕」の冒頭に「智に働けば角が立つ、情に掉さおさせば流される、意地を通せば窮屈きゆうくつだ、とかくこの世は住みにくい」とありますが、信仰も理屈かたよに偏ると人を責める道具となつて衝突しょうとつし人間関係がギスギスします。

また一時的な同情という感情に流されてしまうと進む方向を間違え、後悔する人生になってしまいます。そして、どこまでも自分中心の我を張っていると社会や家族から孤立して行き詰り、寂しく生きにくい人生になってしまいます。

日々の変化に動揺せず、様々な出来事に一喜一憂せず、安心した幸せな人生を送るためには、常に正しい師に付いて聞もん（相談して）・思し（よく理解して）・

修（素直に実行する）を繰り返し、八正道という仏さまの正しい価値観で生活することが大切です。

仏教は、師から弟子へ、弟子から弟子へと絶えることのない教えと行の持続によって多くの人が救われてきました。

あなたには師がありますか？

師の添削を受けていますか？

妙法は「無明の闇を切る大利剣」と言われます。悩み苦しみという現実の闇を切り開き、希望の光を見出し切れ味抜群の名刀なのですが、師の添削や人に法を伝えるという磨きをかけていないと、いかなる名刀も錆びて切れ味が悪くなります。自分先生という磨きをかけない我流の人生が一番危険です。

法という真理は永遠に変わりませんが、世の中は諸行無常、すべては変化するものであり、教えは実践方法ですから、年齢や立場や時代によって常に変化するものです。

昔聞いた教え（実践方法）をしっかり握っているだけではなく、日に新しく法話を聞いて学びを深め、添削を受けて磨きをかけていないと、せつかくの信

仰もなかなか結果の出ない信仰になってしまいます。

自分中心の狭い視野が、自分で生きづらい人生を作っているのです。生きづらい世の中（現実）を楽しい毎日にする「ばつく拔苦与よろこ樂」の生き方を教えているのが法華経なのです。

◇人生はドラマ、生き方は演出

人生は仏さまの悟り（受け止め方）に近付くための壮大なドラマです。配役は自分では選べません。配役は仏さまからのご指名であり、シナリオは仏さましかわからないのです。

開祖さまは「人生は演出である」と教えられました。

仏さまから指名された自分の役（使命）をどう演じるかによって人生の結果が大きく違ってきます。千両役者になるか大根役者になるかは自分次第です。

人生には色々な役があります。主役と脇役、王様と家来、社長と社員、男性と女性、親と子、夫と妻、病人と健康な人、お金持ちと貧乏な人など、如何にその役になり切り演じ切るかが人生の妙味です！

もつといい役がいいとか、こんな役は荷が重いか、与えられた役に愚痴を

こぼしたり、嫌々演じていたらお捻り（謝礼の投げ銭）も拍手喝采はくしゅかつさいもありません。

かつこいい主役の主演男優賞女優賞もあれば、目立たぬ脇役でも名脇役を演じれば助演男優賞女優賞もあります。時代劇には切られ役もあります。どの役も尊く大切なのです。人生に無駄な役は一つもありません。廻めぐってきた役に不足を言わずにやり切れば、仏さまから幸せという賞が頂けます。

失敗のない人生はありませんが、失敗した時に言い訳の上手うまい人と叱しかられっぷりのいい人がありますが、言い訳上手じょうずな人は反省がないと思われ、叱られっぷりのいい人は「こいつは素直で見込みがある」と評価されるでしょう。

自分に廻まわってきた役の演じ方が分からない時は、先輩信者さんや教会長先生に教えて頂きましょう。

◇徳の器を大きくする



古いお話ですが、現代にも通ずる真理のお話です。聖祖栗山法明先生（開祖さま第一番目の師匠）のご指導です。

戦後間もない頃、かつて職業軍人あつた男性が、軍人という職を失い、見よう見まねで芋羊^{いもよう}かんの製造販売をして何とか軌道に乗ってきた矢先、使つていた第三国人（在日朝鮮人や中国人）に売り上げを全部持ち逃げされて倒産し、家土地を売り払い長屋住まいとなり、何も悪い事をしていないのに何故こんなひどい目に合わなければならぬのかという怒りと生活に困窮^{こんきゆう}して相談に來られました。

（聖祖）世の中は「蒔かぬ種は生えない」というのが真理です。あなたは軍人であつた時、出兵先の外国で現地の人から金品を搾取^{さくしゅ}したことはいいですか？（男性）お恥ずかしいことですが、憲兵の立場を良いことに現地の人から金品を取り上げた事は何度ありました。

（聖祖）自分で蒔いた種は自分で刈り取らなければならぬのです。かつて何の罪もない外国人に対して行つた悪行の種が芽生えたのです。

悪行の不徳と徳の器が小さかつたから、せっかく儲^{もう}けた売り上げが溢^{あふ}れ出て

持ち逃げされたのです。不徳の穴埋めをし、徳の器を大きくするために人の嫌がる汚物の汲み取りの仕事から始めるといいですよ。そして、日本一の汲み取りになれば、やがて卒業でき幸せになります。

（男性）先生、日本一の汲み取りとはどういうことですか？

（聖祖）古新聞を持つて歩き、汲み取りのあと汚物で汚れた汲み取り口を新聞紙できれいにしていきなさい。きっと当家の方は喜ばれ、仕事を通じて徳が積み、徳の器が大きく成れば必ず幸せになります。

素直に実践し続けられたこの男性はやがて市役所の正職員になり、順調に出世して最後は焼却場の所長になり、定年退職後は立派な自宅とアパート経営で安楽な余生を送られました。人生はただ一生懸命働くだけでは幸せは得られません。徳の器に応じて幸せがやって来ます。徳の器を大きくするためには布施をすることです。

人に喜んで頂くための財施・身施・法施という布施が徳の器を大きくするのです。

いしら
つ会



◇立教祭役員任命 / ご真教法話抜粋◇

真生会開教46周年立教祭、誠におめでとうございます。

先程は、これから2年間教会活動のお役をお勤め頂く新役員の任命をさせて頂きました。どうぞよろしくお願いします。

役員の皆様には、お勤めや家の用事、町内行事や子供の学校行事などと重なることも多々あるかと思いますが、仏様のお役は最高の徳積みであると信じ、できる限り仏様のお役を優先して頂ければ、開祖さまの「不自惜身命、きっとよくなる、何とかなる」の教えのように、仏様の計り知れない大きなご守護が頂けるものと思います。お役ご奉仕は身の施し「身施」であり、尊い時間を捧げて頂く、時は金なりの「財施」でもあります。

法華經の普賢菩薩勸發品第28に「この經典を受持せん者を見ては、^{まさ}に起って遠く敬うべきこと、^{まさ}に仏を敬うが如くすべし」とあります。この教えをしっかりと保って実践している方を見たら、遠くからでも仏様と同じように敬い合掌しましょうと述べてあります。

また、この度新たに大阪教会長の大役を担って頂く大西啓依子さん、真生会全体の教団活動を取り仕切って頂く総本山教務長兼青年育成担当の田中祥陽さん、どうぞよろしくお願いします。大西啓依子さんは大阪教会で婦人部として長らく皆様と一緒に活動されてきました同朋であり、田中祥陽さんはこれからの若い年代ですが、今日からは真生会の将来と会員信徒みなさまの幸せのために先頭に立ち法師の役目を果たす覚悟と自覚をもって下さったのです。これからは教会長先生、教務長先生と信頼と尊敬の念をもって呼ばせて頂きましょう。

新規役員任命

【総本山】 教務長兼青年育成担当 田中祥陽（よしはる）

【大阪教会】 教会長 大西啓依子（けいこ）

【岐阜教会】

《壮年部》 部長 多田佳央 ・ 副部長 國井佑浩、山部眞一

《婦人部》 部長 國井奈加子 ・ 副部長 足立和美、平工初子

《青年部》 部長 宮田雄貴 ・ 副部長 早野雅大、田中宏明

《第1支部》 支部長 平工初子

《第2支部》 支部長 國井佑浩

《第3支部》 支部長 足立和美

【大阪教会】

《婦人部》 部長 石丸祐視子 ・ 副部長 小林佑実子、三村千佳

・ 副部長 出田ときこ、坂本育身

《第1支部》 支部長 林田早紀子

・ 主任 小俣丈子、奥田佳代

《第2支部》 支部長 長尾教子

・ 主任 宮島りえ、永田雅子

【名古屋教会】

《事務長》 横山知津子

《壮年部》 部長 土川康二

《婦人部》 部長 佐藤百々枝 ・ 副部長 土川廣美

※任期：令和7年4月～令和9年3月

今月の運勢（6月）

（2025年6月5日～7月6日）

一 白水星

寒さに足を取られて進めない危機的状况。今は止まって時の至るまでひたすら徳を積んで待つこと。目上の人に相談し、謙虚に従順にその意見に従い仲間と協力すること。

二 黒土星

様々な危機を乗り越え、今は天下泰平。目上と目下、年配者と若者が互いの持ち分を守り、互いに理解し通じ合えば万事順調に進む。しかし物事には完成はない。危機に備えて油断しないこと。

三 碧木星

春が来て雪解けが進む

が、氷が解けて大地が緩む危険がある。危険を察知したら迷わず決断し新たな場所に移ること。多少のリスクがあっても大きな変革の機会を逃さないこと。

四 緑木星

物事のうわべだけではなく本質を観察すること。同様に自分も常に周囲から観察されている。自ら身を正し見る者を感化し仰ぎ見られるように何事も誠意をもって努力すること。

五 黄土星

日が昇るように運氣がゆっくり上がり始める。朝寝坊は運氣を逃すので朝早くから元氣

な声を出して動き始めること。若者と協力し、何事も感動感激して行動すること。

六 白金星

人生は出会いによって大きく変わる。突然の出会いや望まない出会いもあるが、出会いが沈滞ムードを一新させる良い出会いとなる。但し異性との出会いには十分注意すること。

七 赤金星

年の初めから積極的に飛び回り苦難をよく乗り越えて来た。ここでしばらく羽を休めて休養し心身ともに充電する時。周囲の状況もよくわかるので計画を見

直して今後の行動に備えること。

八 白土星

今日までの成果が稔り、大いに蓄積でき蓄えることができる。蓄えた利益は身内や自分の事よりも社会に役立てることに使えば大業を成し遂げることが出来る。

九 紫火星

仲の良い仲間でも油断すると不和反目の起きやすい時。対立は苦勞するが決して悪い結果ばかりではない。相手の本心をよく聞き対立が小さなうちに対処すればよい。心を大きく持てば解決する。

「まごころ誌代」御礼

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

土川順寛	豊田直正	飯田修五	平田みや子	大下裕子
土川恭代	豊田真悠子	飯田昌子	東森敦己	笹原トミ子
土川康二	早野起世	宮田雄貴	京川春男	笹原正子
土川廣美	早野桂子	多田佳央	鈴木正巳	平口富子
横山知津子	田中庸仁	鈴木快法	松下祐侑香	石丸祐規子
某女	田中佑季子	横井明彦	大西啓依子	坪井祥子
山本季美衣	田中祥陽	横井志奈子	小村友子	細谷早予子
佐藤百々枝	田中理夏子	大野秀子	荒木敬依子	長尾かれん
佐藤光洋	田中宏明	松尾定洋	宮島りえ	樋口恵美子
伊東 晃	田中花音	山田佳延	永田雅子	樋口容子
安田初子	亀井善広	滝本光夫	滝山恵依子	
加藤祐記子	亀井由実子	大橋末子	谷口祐晟	
足立和美	熊田啓予	亀井善二	谷口祐子	
高橋身衣	加納啓至	福元正子	坂本育身	

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の
宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円 / 月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

便利は本当に幸せ？
スマートフォン、
スマートシティ、
スマートな生き方。
便利より手間がたか
さんがることが愛情！
手間暇かけた子供は温
かい！

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
T E L 058 - 235 - 7304 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19
T E L 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3 - 10
T E L 052 - 351 - 3904 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします